

森林の大切さ理解を

本年度事業を本格化 源流散策や 作業体験

森林資源の開発・利
活に取組むNPO
法人フォレストアカ
デミージャパン(本部・
日南町、矢田治美理事
長)が、本年度の事業
を本格化する。下流
域の自治体や住民に森
林の大切さを理解して
もらう事業に力を入れ

る。
米子市水道局による
と、米子、境港市、
日吉津村の上水道は主
に大山山ろくの地下水
の恩恵を受けている。
その水を育むのが源流
域の豊かな森林。
源流域を本拠とする
同NPOは、下流域の

自治体や住民に「源流
域との一体感を持ち、
森林の大切さへの理解
をさらに深めていただ
きたい」(狩野宏副理
事長)と願っている。
同NPOは、日野川
源流の溪谷散策と源流
の碑へのウォーキング
を21日に行うのをはじ

日南のNPO法人フォレスト アカデミージャパン



米子市役所で野坂康夫市長(右)にNPOの
事業を説明し協力を要請する矢田理事長(中
央)と狩野副理事長

め、9、11月に日南町
で森林作業体験やソリ
ーハウスセミナーなど
の諸事業の実施を計画
し、参加者を募ってい
る。

矢田理事長と狩野副
理事長は今年4日、米
子、境港市を訪問し
これらの事業への後援
と市民へのPRなどを
要望した。

米子市は日南、日野、
南部町で、境港市は日
南町でそれぞれ水源か
ん養林を育成してお
り、同NPOは敬意を
表しながら「森の大切
さ、ありがとう」への
市民の理解が一層深ま
るよう、また間伐材の
利活用などを要望し
た。

両市は、その後の検
討で、同NPOが秋に
かけて計画している事
業の後援を決め、市報
やホームページなどで
市民に紹介することに
している。

矢田理事長は「森の
大切さの認識が深ま
り、上流、下流の交流
が盛んになることを願
っている。そのために

も両市の山の有効活用
を」と期待している。

体験事業などの問い
合わせは電話0859
(83)0211、同
NPOへ。

(門永隆一)